

I 自然・資源を活かした元気なまちづくり

1. 観光・交流 (略)

2. 農林水産業

農林水産業の高付加価値化や販路拡大を支援し、収益性を高めるとともに、新規就業者を増やし、農林水産業を生業として持続可能な産業に発展させます。

<主な事業>

- ・農林水産業の収益性を高める取組を行います。(6次産業化やブランド化の支援、直売施設や加工施設の整備、道の駅周辺を小さな拠点として機能強化、集落から道の駅に農林水産物等が集荷される仕組みの整備)
- ・農林水産業の新規就業や後継者確保を支援するとともに移住相談会を通じて都市部の就業希望者を誘致します。また、関係団体と連携し、就業等を支援する相談体制を充実します。
- ・県産材の積極的な活用を支援します。

※岩美町の産業の主な特徴は以下のとおり(地域経済分析システム(RESAS)による)

- ・全産業の従事者数に占める漁業従事者数の割合が高い。
(岩美町:7.8%、全国:0.1%未満、鳥取県:0.4%)
- ・全産業の売上高に占める漁業の売上高の割合が高い。
(岩美町:5.6%、全国:0.1%未満、鳥取県:0.5%)
- ・製造業の従事者数に占める食料品製造業従事者数の割合が低い。
(岩美町:0.9%、全国:13.3%、鳥取県:24.9%)
- ・製造業の売上高に占める食料品製造業の売上高の割合が低い。
(岩美町:0.1%未満、全国:8.6%、鳥取県:24.9%)

<重要業績評価指標(KPI)>

指標	現状	目標値
新規就農者数(補助金受給者)	2人(H26年度末)	延べ5人(H27~R1年度)
道の駅に農産物を出荷する農家数	129人(H27年度当初)	150人(R1年度末) ※年4人増
新規狩猟免許取得者数	2人(H26年度)	延べ10人(H27~R1年度)
新規漁業就業者数	5人(H26年度)	延べ30人(H27~R1年度)
水産加工施設の整備	0件(H26年度末)	延べ1件(H27~R1年度)

3. つながり (略)

II 子どもを産み育てる希望が叶い、安心して暮らせるまちづくり

1. 若者の交流・結婚

晩婚化や未婚化が進んでいる現状を踏まえ、若者の交流・婚活を活発化し、男女が出会い、親しくなる機会を創出することにより、結婚する若者を増やします。

<主な事業>

- ・民間団体・個人が主催する若者の交流・婚活イベントの企画運営を支援します。
- ・1市6町が参加する「麒麟のまち婚活サポートセンター」で婚活イベントの企画・運営の支援、イベント周知、個別相談対応などを行い、広域的な婚活支援を推進します。
- ・町内で就職・起業している若者の交流促進や男女の恋愛のきっかけとなる恋活活動を実施するとともに、恋活活動の取り組みについて情報発信の強化を図ります。

- ・若者グループが主催する地域活性化につながるイベントの企画運営を支援します。
 - ・同窓会の開催を支援します。
- ※町民アンケートでは、未婚化・晩婚化対策について、民間団体の取組を支援した方がよい(35.4%)と回答。

<重要業績評価指標 (KPI)>

指 標	現 状	目標値
結婚組数	年 39 組 (H25 年)	年 50 組 (R1 年) ※年約 2 組増
民間団体・個人が主催する若者（主に 40 歳以下を対象）の交流・婚活イベント数	年 3 回 (H26 年度)	年 5 回 (R1 年度)
民間団体・個人が主催する若者（主に 40 歳以下を対象）の交流・婚活イベントへの参加者数（町民）	26 人 (H26 年度)	年 100 人 (R1 年度)
若者（主に 40 歳以下を対象）グループが主催する地域活性化につながるイベント数	なし	年 2 回 (R1 年度)
同窓会の開催数	—	延べ 15 回 (H27～R1 年度)

2. 子育て・教育

妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援や多様な子育てスタイルに応じた施策を実施し、若者が安心して出産、子育て、教育のできる環境を整備するとともに、子育て・教育しやすいまちであることを岩美町内外に情報発信することにより、岩美町内で 3 人以上の子どもを育てようとする夫婦を増やします。

<主な事業>

- ・保育所等を利用せず、在宅で乳児を養育する世帯への給付金を支給します。
- ・妊娠期の講座、相談・支援や産後の母子支援事業を実施します。
- ・出産に伴う負担を軽減します。**(不妊検査・不妊治療費の支援、不育検査・不育治療費の支援・妊婦健診・歯科検診費用の支援、第 3 子以降の出産祝金の支給、産後 1 か月健診費用の支援、新生児聴覚検査の支援)**
- ・未就学児の子育てに伴う負担を軽減します。(乳児期のおむつ購入費の支援、第 2 子の保育料の軽減、第 3 子以降の保育料無償化、**令和元年 10 月以降の 3 歳児以上の保育料無償化 (副食費も無料)**)
- ・医療等に伴う負担を軽減します。(医療費の自己負担額の軽減、病児・病後児の一時預かり、予防接種費用の支援)
- ・通学に伴う負担を軽減します。(小学生向けのスクールバスの運行、自転車通学の中学生にヘルメット購入費の支援、中学生・高校生のバス通学費の支援)
- ・小中学校・保育所において、災害等の際に利用する物品（防災頭巾、毛布、簡易トイレ等）を整備します。
- ・児童生徒の基本的な生活習慣や基礎学力の定着、学力の向上を目的に、小中学校で少人数学級を編成します。
- ・子育て支援施策等をまとめた小冊子を作成し、子育てしやすい町であることを情報発信します。

<重要業績評価指標 (KPI)>

指 標	現 状	目標値
出生数	年 60 人 (H26 年度)	年 80 人 (R1 年度) ※年 4 人増
第 3 子以降出生数	年 14 人 (H26 年度)	年 24 人 (R1 年度) ※年 2 人増
子育て世帯の転出超過数	年 15 世帯 (H26 年度)	年 3 世帯 (R1 年度) ※年 2 世帯減

3. 支え愛（支え合い）（略）

Ⅲ 住み続けたい、帰ってきたい、住んでみたいまちづくり

1. 移住・定住（略）

2. 住まい（略）

3. しごと

起業・創業・就職を支援することにより、岩美町内でチャレンジしようとする若者の仕事を確保するとともに、雇用拡大に取り組む事業者を支援することにより、雇用を増やします。

<主な事業>

- ・町内での新たな起業・創業を支援します。(岩美町の特色を活かした起業やコミュニティビジネスの支援、町内の空き家や空き店舗を活用してITビジネスや飲食店等を行う起業家の誘致(施設の改修、光ファイバ接続の支援等)、町内在住者の従業員を雇用する起業・創業の支援、半X半Yの働き方(2つ以上の生業により生計を立てる働き方)のモデルづくり)
- ・町内在住者や移住希望者の就職を支援します。(公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構などの関係団体と連携した就職希望者と求人企業とのマッチング、求人情報を広報誌に掲載、県内外の大学生によるインターンシップの実施支援)
- ・町内事業者の経営改善、事業拡充、後継者育成を支援します。(町内事業者向けの生産性向上につながる活動の**制度周知の強化**及び支援(セミナー、現場指導)、若者を正規雇用した中小企業に対し人材育成に要する経費を支援するとともに、**岩美高生を対象とした企業ガイダンスや見学ツアーを実施、町内事業所への就職のためのPRに役立てる「岩美町事業所ガイドブック」作成の支援**)

※町民アンケートでは、若者を雇用する企業への支援(49.3%)、新規創業者への支援(15.1%)、事業後継者への支援(13.0%)、就職相談窓口の開設(11.8%)が特に重要と回答。

<重要業績評価指標(KPI)>

指標	現状	目標値
起業・創業件数	年3件(H26年度)	延べ20件(H27~R1年度)
うち40歳以下の若者による起業・創業件数	年1件(H26年度)	延べ10件(H27~R1年度)
起業・創業相談件数	年18件(H26年度)	年27件(R1年度) ※年約2件増
新規雇用者数(正規雇用) ※岩美町商工会調べ	年10人(H26年度)	年15人(R1年度) ※年1名増
インターンシップの受入件数	年0件(H26年度)	延べ10件(H27~R1年度)
生産性向上につながる現地指導を受けた企業数	年0件(H26年度)	延べ5件(H27~R1年度)